

都市再生整備計画 事後評価シート

東城地区2期

令和5年3月

広島県庄原市

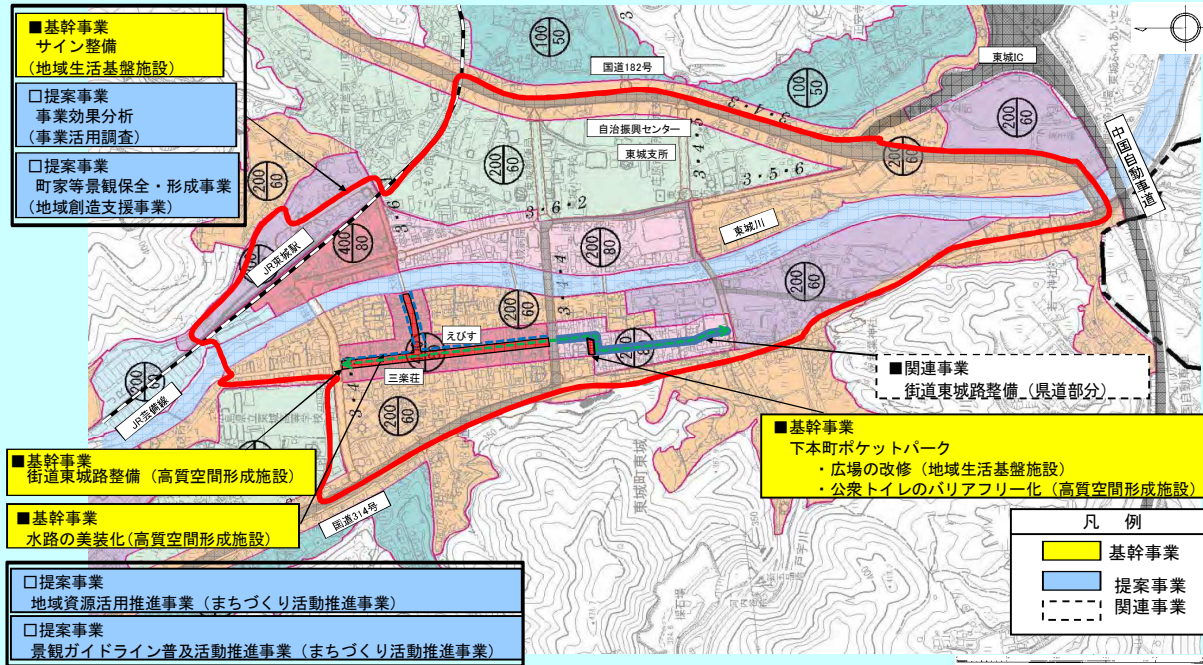
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	庄原市		地区名	東城地区2期		面積	77.0ha			
交付期間	平成29年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	266.0百万円 国費率 40%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(下本町ポケットパークの広場改修、サイン整備)、高質空間形成施設(街道東城路、大橋筋の道路の整備、水路の美化、公衆トイレのバリアフリー化)										
		提案事業	地域創造支援事業(町家等景観保全・形成事業)、事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動推進事業(地域資源活用推進事業、景観ガイドライン普及活動事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし		-			-					
	新たに追加した事業	基幹事業	なし		-			-					
		提案事業	なし		-			-					
交付期間の変更	当初	平成29年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	登録有形文化財「三楽荘」の年間利用者数	人	13,070	H27	16,000	R3	1,740 (R3)	x	あり	新型コロナウイルス感染症対策により、閉館日数が減少したことに加え、利用者が多くなるまちなみイベント「まちなみふらり散歩ギャラリー」、「東城まちなみ春まつり」の中止も影響し、目標値に届かなかった。令和4年度から各種イベントが再開され、施設利用者数の増加が見込まれる。	令和5年3月	
	指標2	来街者向けイベントの入込観光客数合計	人	43,000	H27	43,000	R3	30,000 (R1)	x	あり	新型コロナウイルス感染症対策により令和2年以降、イベントの開催が出来ず目標値に届かなかった。ただし、R4年度から各種イベントが再開され、入込観光客数の増加が見込まれる。なお、令和4年度の「お通り」の来場者数は18,000人で、令和元年度と同程度まで回復している。	令和5年3月	
指標3	東城地域のまちづくり団体活動拠点となる、まちなみ交流施設を2階多目的研修室の施設利用者数	人	1,961	H27	2,000	R3	353 (R3)	x	あり	平成31年(令和元年)には、2,861人の利用があり目標の達成が期待されたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、利用が伸びず目標値に届かなかった。ただし、まちづくり活動は徐々に再開しており、今後、施設利用者数の増加が見込まれる。	令和5年3月		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標	その他の数値指標1	まちづくり団体(東城路まちなみ協議会)の活動回数合計	回	-	-	/	6 (R3)	/	/	本事業を契機として、まちづくり団体「東城路まちなみ協議会」が平成29年7月に設立され、歴史文化の継承や景観創出、防災に関する取組みが継続して進められている。	令和5年3月	
		その他の数値指標2	まちづくり団体(東城路まちなみ協議会)による新規イベントの参加者数合計	人	-	-	/	228 (R4)	/	/	本事業を契機として、まちづくり団体「東城路まちなみ協議会」が平成29年7月に設立され、まちなみを活かした新規イベントが創出された。	令和5年3月	
4)定性的な効果発現状況	本事業を契機として、まちづくり団体「東城路まちなみ協議会」がH29.7に設立され、新規イベント「東城たてもがたり」の開催やファサード整備等、歴史文化の継承や景観創出、防災に関する取組みが継続して進められている。伝統行事「お通り」やイベントに高校生が観光ガイドとして積極的に参加することで、地域行事を盛り上げ、地域の活性化に寄与している。本事業による「街道東城路」の美化やポケットパークの改修により、まちなみの景観性が向上するとともに、歩行者の安全性やイベント時の利便性が向上した。												
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
		住民参加プロセス	本事業を契機として、街並みの再生・活用やガイドの育成、マップづくりなどのまちづくり組織の立ち上げや充実・強化を促進するとともに、各組織、住民等が情報を共有し、相互連携を図る横断的な組織や機会づくりとその活動を支援した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 行政の行うハード・ソフトのまちづくり事業に対して、住民参加及びニーズ把握の場として活用しながら、協議会と協働してまちづくりを進めていく。		
持続的なまちづくり体制の構築	本事業を契機として、街並みの再生・活用やガイドの育成、マップづくりなどのまちづくり組織の立ち上げや充実・強化を促進するとともに、各組織、住民等が情報を共有し、相互連携を図る横断的な組織や機会づくりとその活動を支援した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民が主体となったまちづくり活動を継続できるよう、事務局等として支援していくとともに、自主財源の確保に向けた取組みを支援する。				

様式2-2 地区の概要

東城地区(広島県庄原市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
にぎわいと活力・魅力のある街並みに誇りを持って暮らすためのまちづくり ・歴史的な街並みなどを継承・活用しながら、四季を通じて訪れたい東城ならではのまちをつくる ・自然や歴史文化に彩られた中で、安心して楽しく暮らせる環境をつくる	登録有形文化財「三楽荘」の年間利用者数	人	13,070	H27	16,000	R3	1,740	R3
	来街者向けイベントの入込観光客数合計	人	43,000	H27	43,000	R3	30,000	R1
	東城地域のまちづくり団体活動拠点となる、まちなか交流施設えびすにおける2階多目的研修室の施設利用者数	人	1,961	H27	2,000	R3	353	R3
	まちづくり団体(東城路まちなみ協議会)の活動回数合計	回	-	-	-	-	6	R3
	まちづくり団体(東城路まちなみ協議会)による新規イベントの参加者数合計	人	-	-	-	-	228	R4



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋改修が一部にとどまっており、波及継続的にまちなみ景観の保全と向上を図る必要がある。 ・移住したい人の受け入れ体制を整備する必要がある。 ・本事業等により整備された施設の長寿命化を図る必要がある。 ・楽しく暮らせるまちにするため、にぎわい創出や健康づくり等に寄与するソフト対策が必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの魅力づくりに向けて、引き続き家屋改修等を行い、まちなみの景観保全と向上を図る。 ・移住したい人を受け入れるため、空き家の再生・活用を支援していく。 ・施設の機能を維持し、長寿命化を図るため、適切な維持管理を行う。 ・本事業を契機として設立された「東城路まちなみ協議会」等、地域住民が主体となったまちづくり活動を継続できるよう、事務局等として支援していくとともに、自主財源の確保に向けた取組みを支援する。 ・地域の更なる魅力向上や若者の定住促進のため、学生によるまちづくり活動への参加を促進していく。 ・まちなかに存在する空き家・空き店舗を活用したにぎわい創出や、空き地を利用した公園や来街者の行動拠点となる駐車場を整備する。